デイサービスの出展先物件募集強化

戸建て・テナント向けなど対象は広範囲

人材派遣や教育事業を行うヒューマングループで、高齢者向けの介護保険事業を行うヒューマンライフケア（東京都新宿区）がデイサービス事業を拡大している。出店先となる対象物件の確保に向け不動産会社との連係を強化したい考えだ。

今夏以降は空き家の戸建て物件を使った定員11名の小規模デイサービス事業のフランチャイズ化に乗り出し、将来的には100拠点まで伸ばしたい考えだ。だが、FC加盟希望事業者に対して物件供給が追い付かず現在加盟店募集を締め切っている。（近日再開予定）

募集対象となる戸建て物件は入浴サービスや食事の提供を行うため、水回り設備が必須。利用者は車椅子移動が中心となる要介護認定を受けた高齢者が多いため、急な坂道の途中など開設できない場合もあるが、それ以外の要件はほぼ無いに等しい。開設にあたって物件を提供する戸建てオーナーが負担する費用は一切ない。

直営デイサービス事業に関しては現在も積極展開しており、こちらも対象物件を募集中だ。定員25～30名と規模が大きなものを展開。これまでアパートや商業テナント、コンビニエンスストアなどの物件を改装し出店した実績を持つ。

「最大の強みはコンプライアンス体制が確立されていること。デイサービス事業は行政から3年に一度実地指導を受ける。市区町村によって厳しい指摘を下される場合もあるが、当社では最も厳しい条件を全ての事業所に当てはめている」と庄司孝正社長は話している。

▲アパートを改修したヒューマンライフケアのデイサービス